

12月15日正午必着

明石春浦先生書



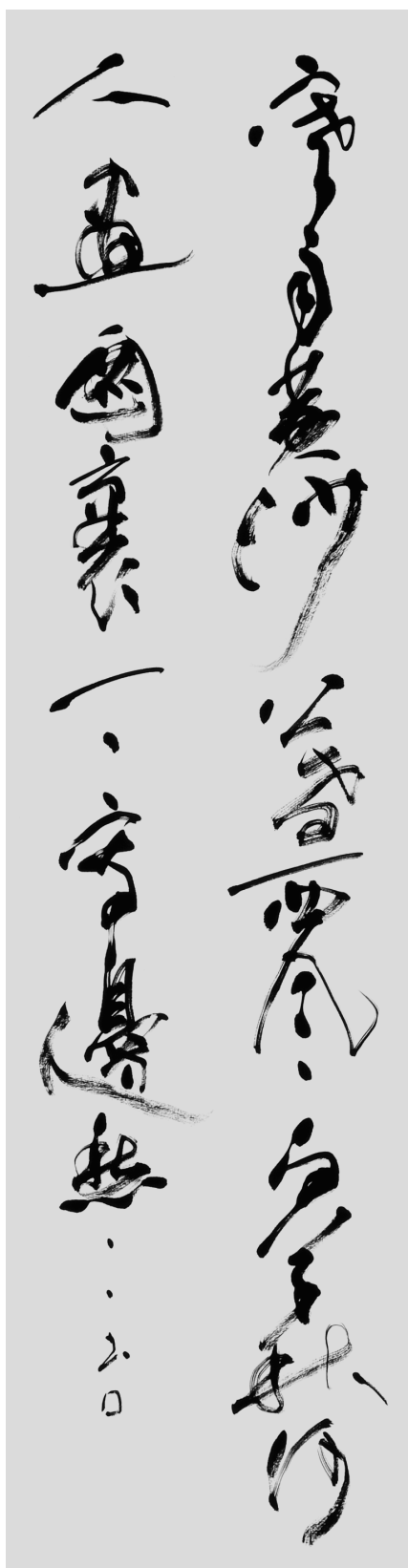
はせいふうようしてあり
葉擁^二西風^一秋有^レ思

てんはくくとだれてよこえなし
天垂^二北斗^一夜無^レ聲

(楊雲翼)

草木の葉は秋風にゆれてそぞろに思うところ多く、夜空には北斗星がかかって音もなくさえわたっている。

明石幸子書



寒雨黃沙暮 西風白草秋
何人畫圖裏 一一寫邊愁

(釋絶海)

寒雨黃沙の暮。西風白草の秋。何人か画図の裏。一々辺愁を写さん。
黄沙は沙漠の地。白草はちがやの類。画図裏は出塞図の中に。辺愁は辺境に出征しているなげき。



条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

素雪 曉凝華（太宗）

素雪 曉に華を凝らす

素雪は白い雪。

無_レ燈 不_レ做_二滿_レ心 夢_一（唐 寅）
有_レ酒 何愁_二縮_レ脚 眠_一

燈 無_レくして心に滿_レつるの夢を做す。
酒有り何ぞ脚を縮めて眠るを愁えん。（唐寅）

燈火がないので満ち足りた夢は結べないが、酒がある限り脚をちぢめて眠る位は苦にならない。

望_二秦川_一（李 頎）

秦川を望む 李頎

秦川 朝望 迥 日出正東峯
遠近山河淨 逶迤城闕重
秋聲萬戶竹 寒色五陵松
客有_二歸歟 嘆_一 淒其霜露濃

秦川 朝望 迥かなり 日は出ず 正東の峰
遠近 山河 淨く 逶迤として 城 闕 重なる
秋 声 万戸の竹 寒色 五陵の松
客に 帰歟の 嘆有り 淒として 其れ 霜露 濃やかなり

梢_二みなあらはになりし霜枯の木立にあかき夕づく日かな（佐佐木信綱）

半紙部規定課題A

12月15日正午必着

年華初冠帯

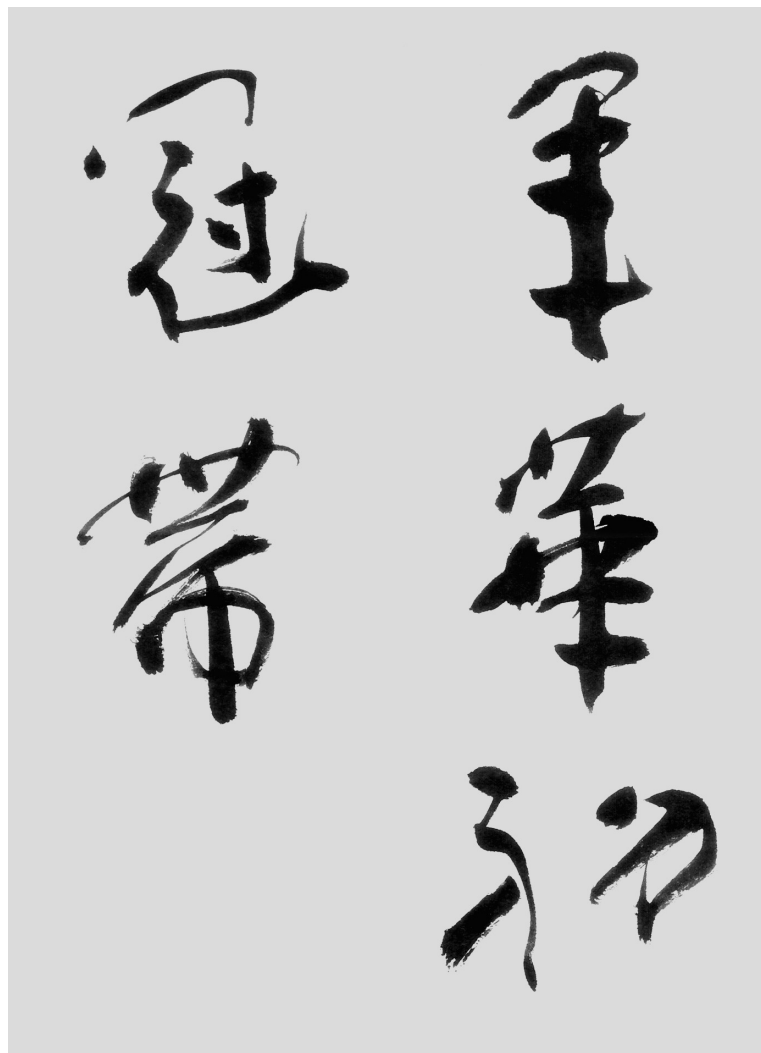
※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(五体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。



草書



行書

12月15日正午必着



隸書



行草書



篆書

送王牧往吉州

謁中史君叔上

細草綠汀洲
王孫耐薄游
年華初冠帶
文彩舊弓裘
野渡花爭發
春塘水亂流
史君憐小阮
應念倚門愁

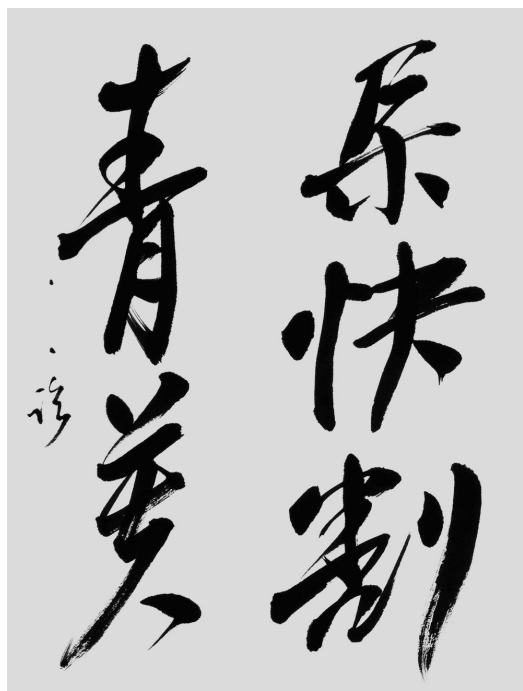
王牧が吉州に往いて史君叔に謁する
を送る

李嘉祐

細草 汀洲に緑に
王孫 耐く薄遊す
年華 初めて冠帶し
文彩 旧と弓裘
野渡 花争って発き
春塘 水乱れつつ流る
史君 小阮を憐れむも
應に倚門の愁いを念うべし

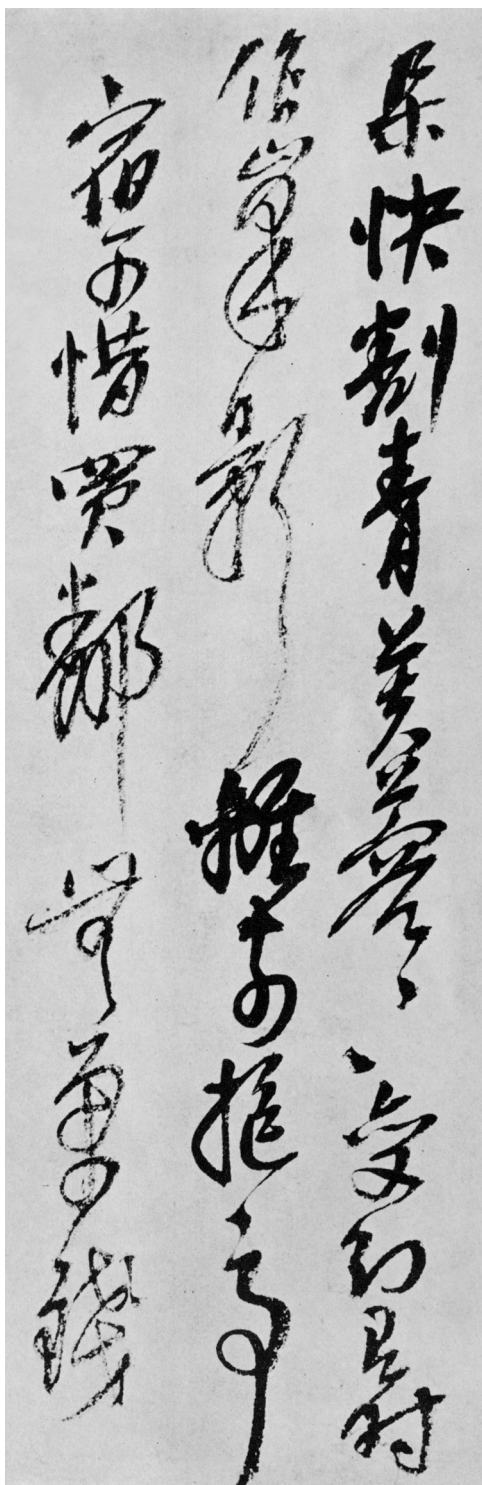
細やかな春の草が、川岸に緑に茂るとき この若者はけなげにも旅に出る
やっと元服して冠帯をつけたばかりのわかわかしさが その文章の輝かしさは遠く父祖の業を受
けつぐ

野中の渡し場に、花は妍を競って咲き 春の堤に水は乱れつつ流れる
太守は甥の君を可愛がってくれるだろうが 母堂が心配して待っているのを忘れてはいけない



楽快割青芙蓉

三浦士岳先生臨書



楽快割青芙蓉。芙蓉變幻有時作。峯影離奇抱亭宿。可惜買鄰無萬錢。

清 吳昌碩・詩稿

吳昌碩は清朝の道光二十四年に浙江省安吉県に生まれ、中華民国一六年に上海で没した。(一八四四—一九二七・享年八四才) 名は俊、長じて俊卿といい、字は昌碩、倉碩・蒼石・缶廬・缶齋・老蒼などと号した。清末から中華民国の初期は大動乱の時代で、十七才の時に太平天国革命の争乱が郷里に及び、一家は離散した。彼は難を逃れてひとり湖北省・安徽省などを五年間流亡した。二一才の時にようやく故郷にたどりつき、年老いた父と再会し、一緒に百姓をして生計をたてていた。

吳昌碩は、若いときから仕官の道にはまったく興味を示さず、ひたすら文学、芸術に打ち込んでいた。二九才の時故郷を離れ、杭州・蘇州・上海と遊歴し、文学を齋榭に学び、書を楊峴に、画を任頤に学んだ。一九〇四年に金石書画の研究団体として西泠印社が設立され、彼は推されて初代社長に就任した。久しく蘇州に住み、晩年には上海に定住し、文墨活動に励んだ。篆刻は十代から始め、書は中年以降晩年まで石鼓文の臨摹に没頭したが、王鐸や米元章を習ったといわれる行草書にも篆書の用筆法を取り入れた独自の直線的な連綿のスタイルを作り上げていった。この詩稿は文字どおり詩の草稿であり、下書きである。つまり、書き手の自然な姿が投影されているということであり、吳昌碩の行草書の神髓をうかがい知る手がかりのひとつとなるであろう。

(春壽)

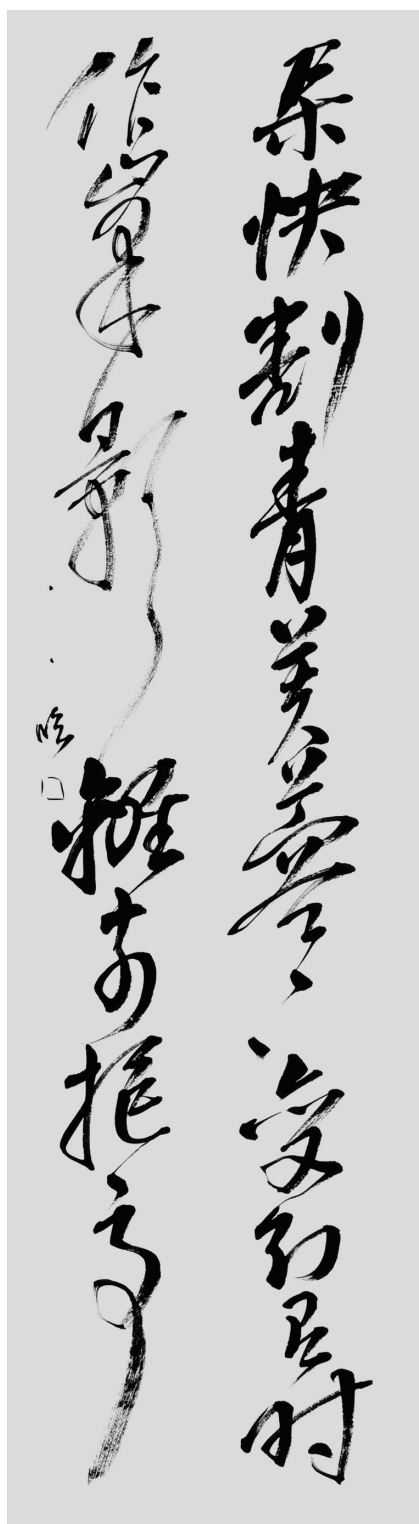


(半折¼)

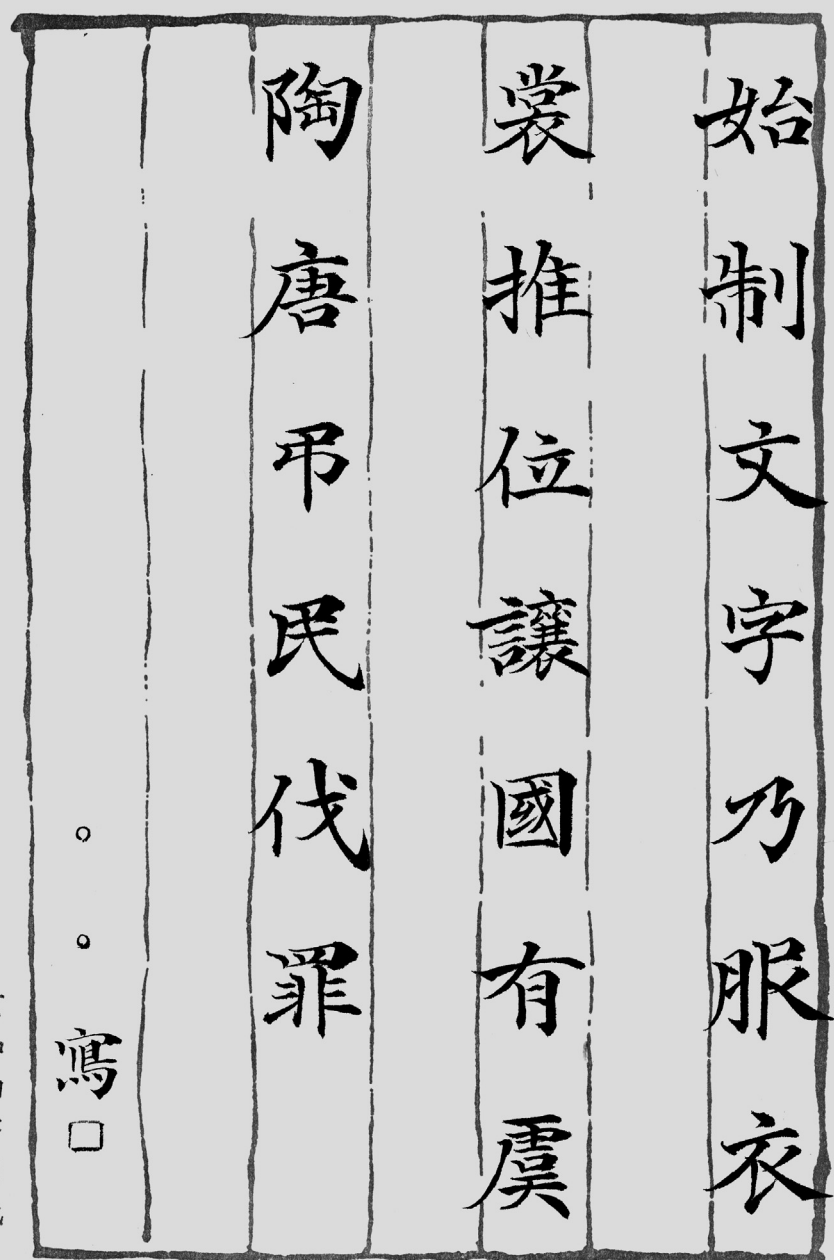
△做書参考作品▽

※この釈文での臨書部門の出品は出来ません。

文勝質則史（雍也「論語」）
外面的な教養がその人の実質に過ぎると、知識はあっても誠実さの欠けた人物になる。



采快割青芙蓉。芙蓉變幻有時作。峯影離奇抱亭

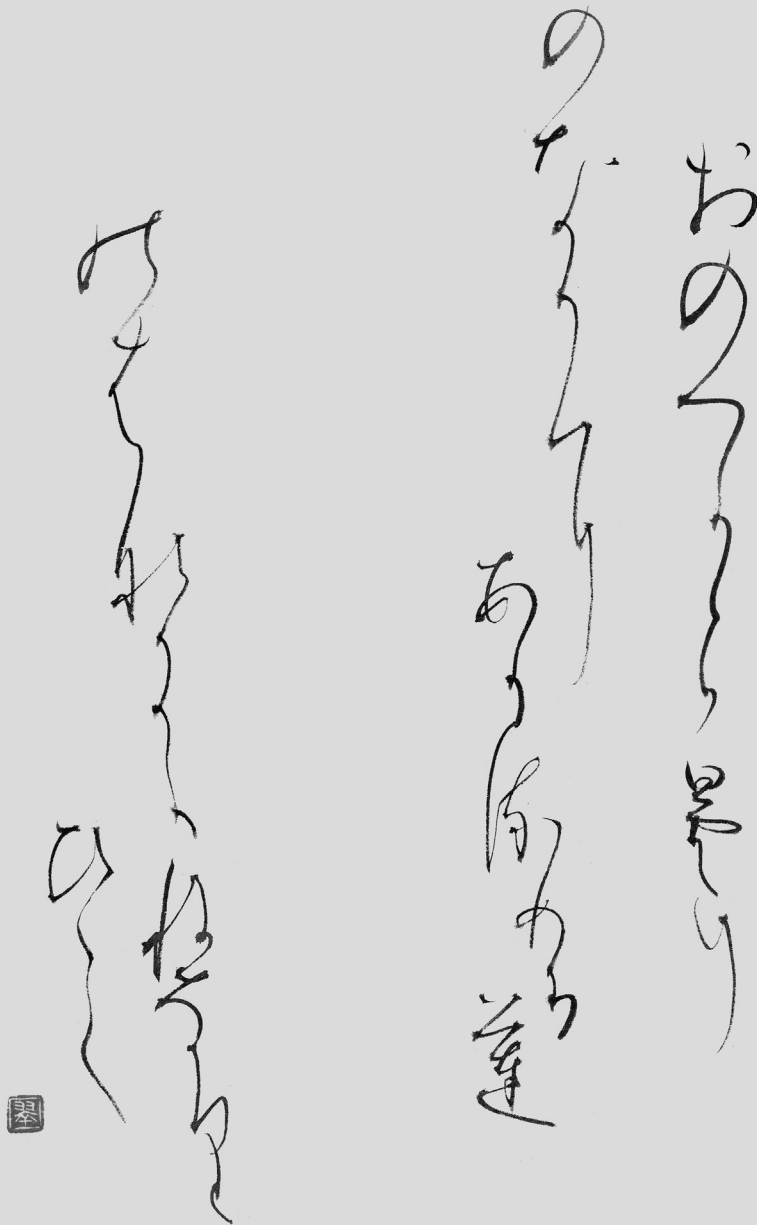


玄和細字用紙

※用紙サイズ：半紙 $\frac{1}{2}$ タテ書き（毛筆）・玄和細字用紙（25枚綴り ¥550 | 税込、送料別）

西 墨濤先生書

松永翠舟先生書



おのづから 曇りのなかにあかるめる 連^{はちす}
可 可 可 可 可 能者那尔 可 奈里
(島木赤彦)

12月15日正午必着

教育部毛筆

楽譜

がく
楽

ふ
譜

中学一年

雨宮春聲先生書

講演会

こう
えん
かい
講演会

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



榎戸春龍先生書

しゅ
首

と
都

小学五年



横川春川先生書

とく
特

しょう
賞

小学六年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

12月15日正午必着



にん
人

ぎょう
形

小学三年

藤田幸春先生書



ちよう
直

けい
径

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

す

き

小学一年・幼年



森戸春濤書

まわ
回

る

小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

しずかな山里に雪の
精がまいおりて来た

小学五年

降りしきる雪の中にす
ずの音が消えて行く

小学六年

生涯かわらぬ友情を
育てることが大切です

中学

おごそかな鐘の音と
聖夜を祝う星の輝き

一般(級位)

滝の音は絶えて久しくなりぬれど 名こそ流れてなほ聞こえけれ (大納言公任)

滝の音は絶えそるる
れど名こそ流れてなほ聞こえけれ

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)

また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

る	き
	よ
ク	し
リ	
ス	こ
マ	の
ス	よ

幼 年

き	み
れ	ん
い	な
な	で
ツ	作
り	っ
ー	た

小学一年

音	じ
が	よ
な	夜
り	の
ひ	か
び	ね
く	の

小学二年

い	歌
ク	を
リ	う
ス	た
マ	い
ス	楽
会	し

小学三年

白	赤
い	い
ひ	鼻
げ	の
の	ト
サン	ナ
タ	カ
	イ
	と

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。